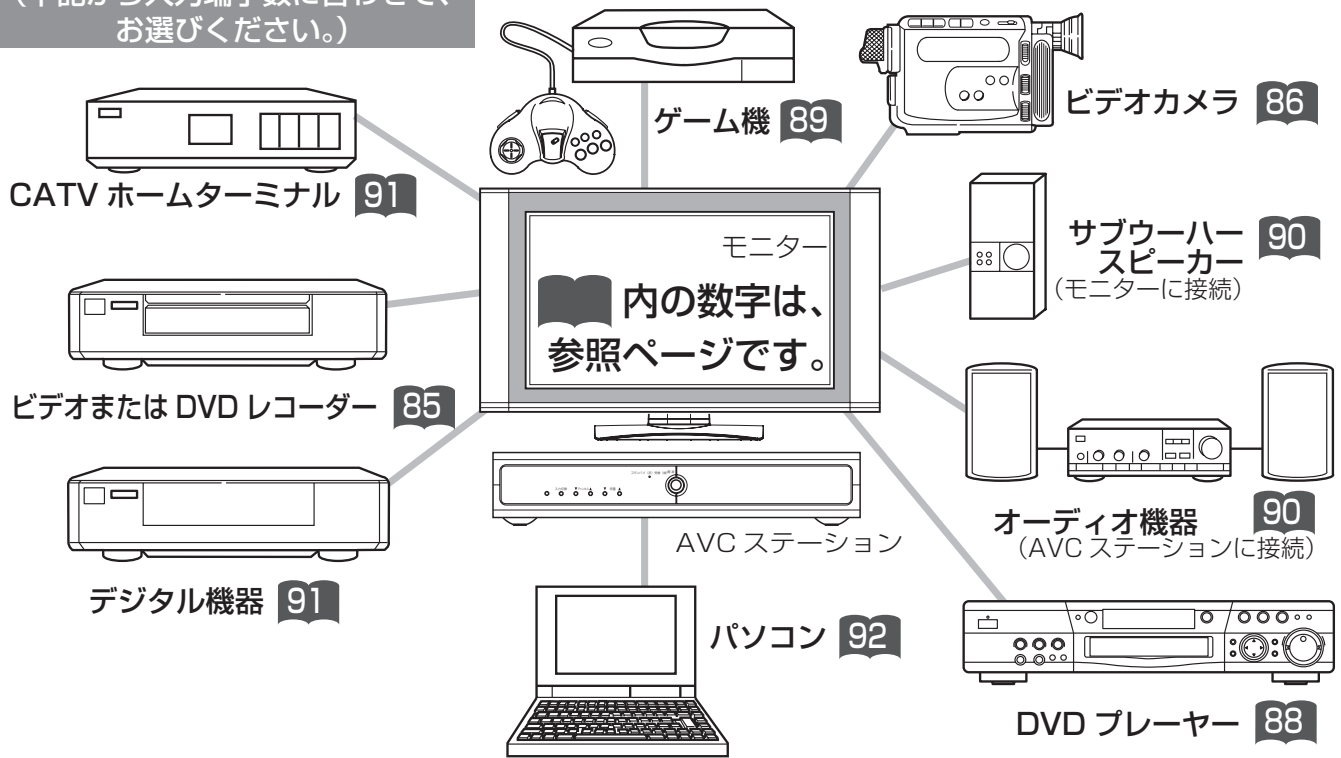


外部機器と接続したいとき

接続できる機器

(下記から入力端子数に合わせて、お選びください。)



お守りください

接続時のご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、モニターの画面又は画面の背面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。特にアンテナ線は、付属のRFケーブル、フェライトコアをご使用いただき他の接続ケーブルからもはなすように配置してください。

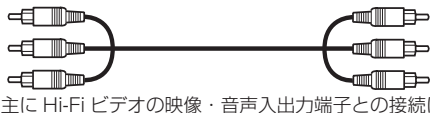
メモ

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。外部機器と接続したいときの設定 **98** をご覧ください。

システムアップに必要な接続コード (別売り)

これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新しく購入される必要はありません。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-120G (コード長 2m)



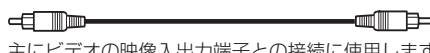
主に Hi-Fi ビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-315G (コード長 1.5m)



主にモノラルビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像信号入出力接続コード VS-220G (コード長 2m)



主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

●RGB 接続コード (一般市販品)



ミニ D-Sub 15 ピンケーブルとパソコンの接続に使用します。

●音声信号入出力接続コード AR-115G (コード長 1.5m)



主に Hi-Fi ビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

●D 端子ピンケーブル TP-CDP01 (コード長 1.5m)



DVD プレーヤーのコンポーネントビデオ出力との接続に使用します。

●D 端子ケーブル TP-CDD02 (コード長 1.5m)

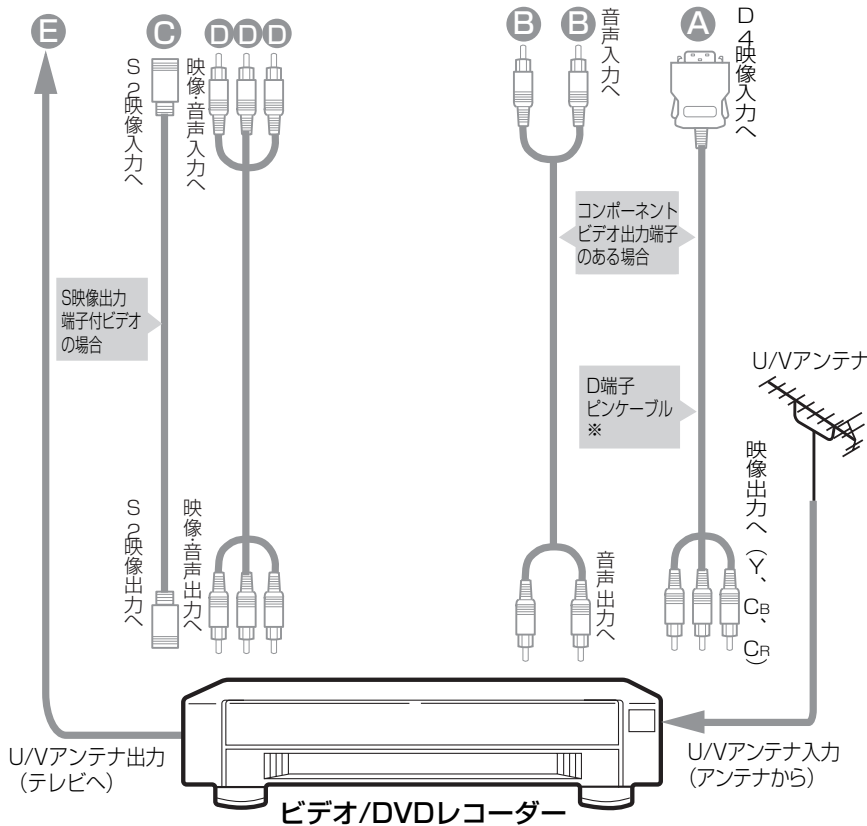
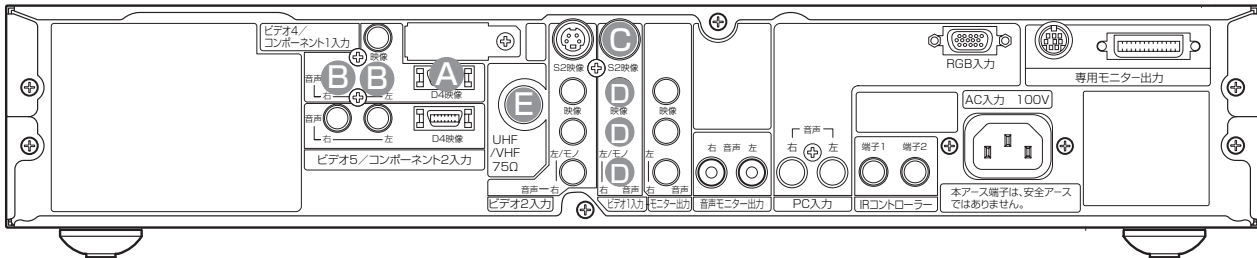


D 端子対応機器や将来実用化予定のデジタル機器との接続に使用します。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

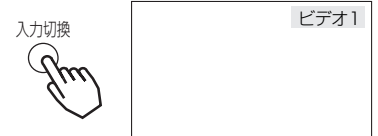
ビデオ、DVDレコーダーなどの録画機器を接続する

S映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。(図の同じ記号のところに接続してください。)

AVCステーション後面



1 入力切換ボタンまたはビデオ 1 ボタンで「ビデオ 1」を選択する
画面に「ビデオ 1」の表示が出ます。
ビデオ 4/コンポーネント 1 に接続したときは、「ビデオ 4」を選びます。



2 ビデオを操作する

設置

お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。(接続コード別売)
- アンテナ線は AVC ステーションとビデオ両方に接続します。受信方式などの違いによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 「IR コントローラーを接続する」**67** と、「IR コントローラーを設定する」**102** を行ってください。

※ D 端子ピンケーブルは別売品 (TP-CDP01 [1.5 m]) をお求めください。

メモ

S2 映像端子について

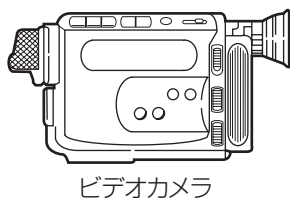
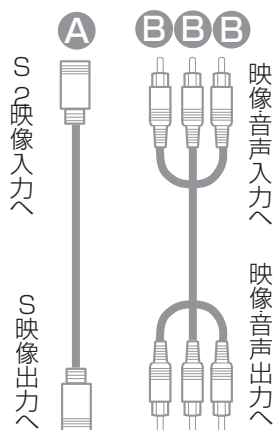
明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S2 映像が優先されます。本機はフルモード制御信号の入った映像が、ビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

外部機器と 接続したいとき (つづき)

ビデオカメラとの接続

(図の同じ記号のところに接続してください)

AVCステーション前面



1 入力切換ボタンまたはビデオ 3 ボタンで「ビデオ 3」を選択する

画面に「ビデオ 3」の表示が出ます。

入力切換



ビデオ3

2 ビデオカメラを操作する

メモ

S2 映像端子について

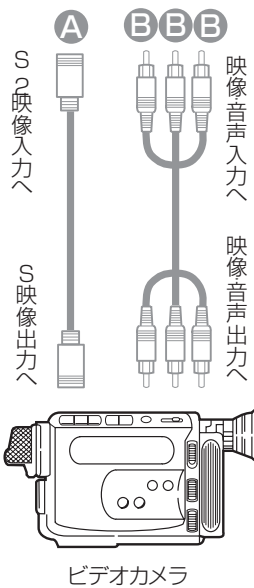
明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。

本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されると、ワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

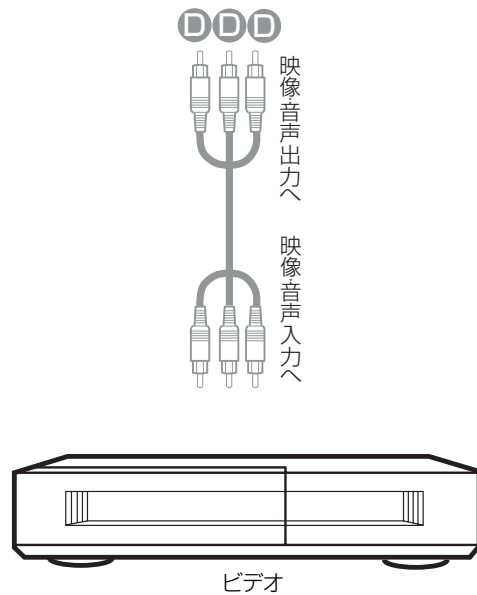
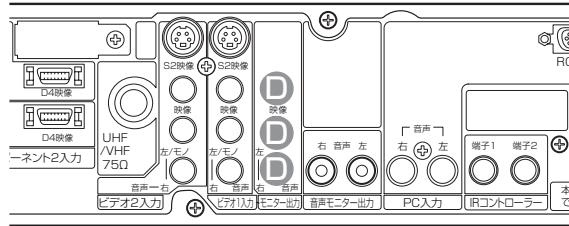
画面を見ながらテープ編集をするときの接続

(図の同じ記号のところに接続してください)

AVCステーション前面



AVCステーション後面



メモ

- ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。また、マルチ画面や2画面、かんたんチェックの操作もしないでください。

モニター出力端子について

- コンポーネント入力およびPC入力時の映像と音声は、モニター出力端子からは出力されません。
- モニター出力は画面に映っているものを出力しますが、ワイド処理された信号が出力されるものではありません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。
- ビデオ1～4入力については、ビデオ入力端子ごとにモニター出力を「する」「しない」の設定ができます。98をご覧ください。
- マルチ画面のときのモニター出力映像は、2画面のときは選んでいる画面が、4画面のときは親画面の映像と音声出力されます。

- 1 入力切換ボタンまたはビデオ3ボタンで「ビデオ3」を選択する
ビデオ1、ビデオ2入りに接続された機器を編集するときは、「ビデオ1」「ビデオ2」を選択する。

入力切換



ビデオ3

- 2 ビデオを外部入力に合わせる
詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 3 ビデオを録画状態にする

お知らせ

メニューの「初期」「外部機器接続設定」の「モニター出力(ビデオ)」を「しない」に設定している 99 ビデオ入力の映像と音声は出力されません。

外部機器と 接続したいとき (つづき)

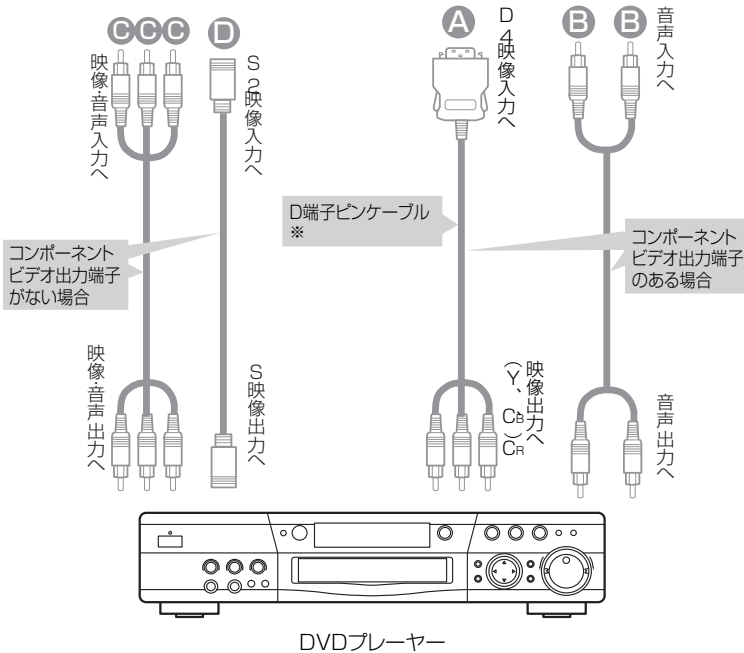
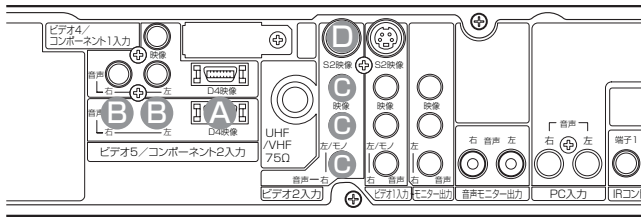
DVD プレーヤーとの接続

(図の同じ記号のところに接続してください)

準備

「コンポーネント2 設定」を「オート」に設定する。**101**
お買い上げ時は「オート」に設定されています。

AVCステーション後面



- 1 入力切換ボタンまたはビデオ 5 ボタンで「ビデオ 5」を選択する
ビデオ 2 入力に接続したときは「ビデオ 2」にします。

入力切換



ビデオ5
コンポーネント2

- 2 DVD プレーヤーを操作する

メモ

S2 映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されると、ワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

コンポーネント入力端子について

- コンポーネント入力端子 (D4 映像) は DVD プレーヤーおよび将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号 (525i (480i), 525p (480p), 1125i (1080i), 750P (720P) 信号) を接続できます。1125i (1080i), 750P (720P) 信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。
- コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。

※ D 端子ピンケーブルは別売品 (TP-CDP01 [1.5m]) をお求めください。

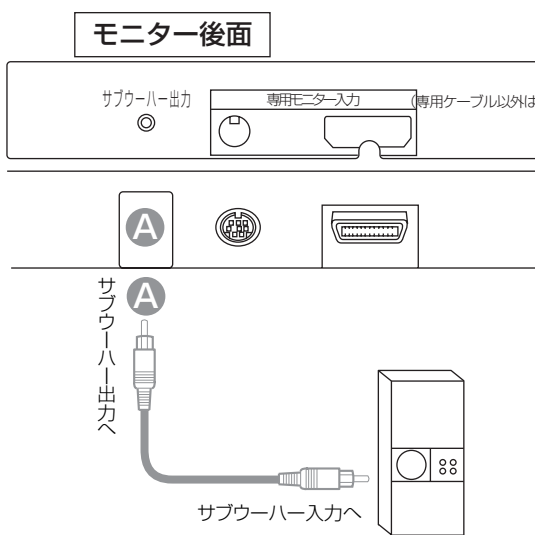
外部機器と 接続したいとき (つづき)

オーディオ機器との接続

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。
(図の同じ記号のところに接続してください)

モニターのサブウーハー出力端子へ接続する場合

モニターのサブウーハー出力は本機により音量、音質など調節された低音を出力します。
専用オプションのサブウーハーを接続してください。



1 本機で音量を調節する

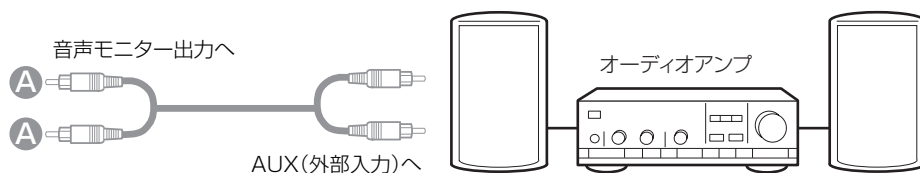
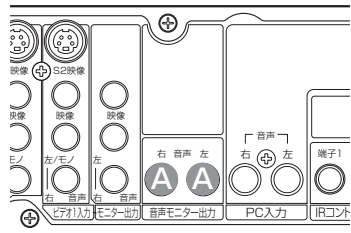
接続したサブウーハーの音量は、本体のスピーカー音量に合わせて固定してください。
音量調節などは本機で行えます。

お知らせ

サブウーハーなどの接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。

AVCステーションの音声モニター出力端子へ接続する場合

AVCステーション後面



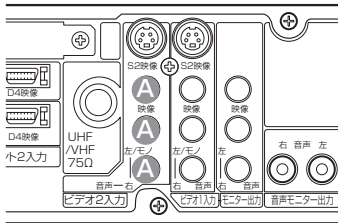
1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

CATV ホームターミナルとの接続

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

AVCステーション後面

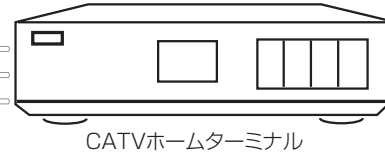


映像・音声入力へ



映像・音声出力へ

詳しくはCATVホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。



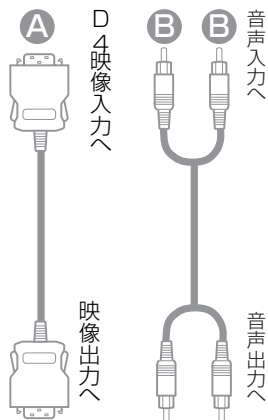
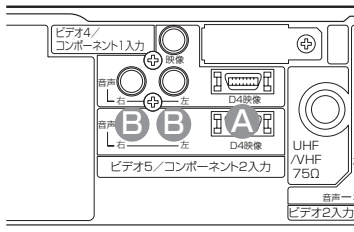
CATVケーブル

CATVホームターミナル

将来実用化予定のデジタル機器との接続

将来実用化予定のデジタル放送環境に対応したデジタル機器に接続することができます。（図の同じ記号のところに接続してください）

AVCステーション後面



デジタル機器

1 入力切換ボタンまたはビデオ5ボタンで「ビデオ5」にする

画面に「ビデオ5」の表示が出ます。

入力切換



ビデオ5
コンポーネント2

2 デジタル機器を操作する

詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

メモ

コンポーネント入力端子について

- コンポーネント入力端子（D4映像）は、将来実用化予定のデジタル機器のD映像信号を接続できます。本機はD映像信号の525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）に対応しています。1125i（1080i）、750P（720P）信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。
- コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。
- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

将来発売予定の機器との接続について

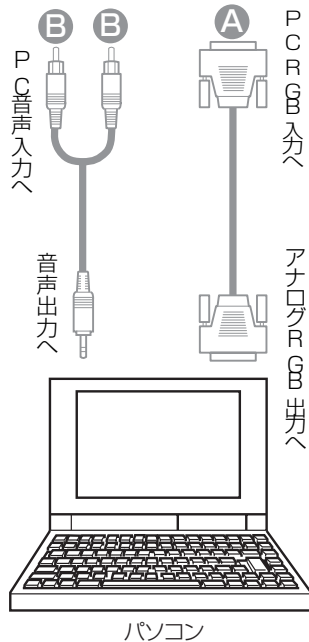
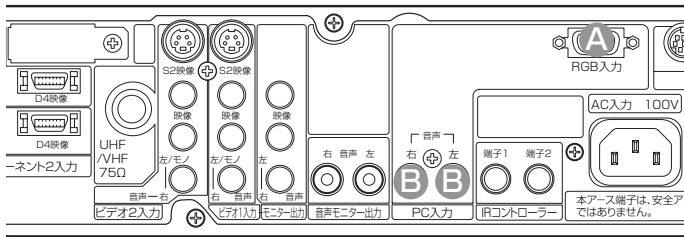
テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

外部機器と 接続したいとき (つづき)

PC (パソコン) との接続

(図の同じ記号のところに接続してください)

AVCステーション後面



1 入力切換ボタンまたは PC ボタンで「PC」にする

画面に「PC」の表示が出ます。



2 パソコンを操作する

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

モニター出力端子について

PC 入力画面と音声はモニター出力端子には出力されません。

接続について

- パソコンを接続するときは、RGB 接続コード (別売り) が必要です。
パソコンによっては、パソコンでオプション設定されている変換コネクタが必要な場合があります。
- RGB 接続コードは、接続コードに付属されたネジなどにより、本機にしっかりと取り付けることをおすすめします。
- PC (RGB) 入力端子は、プラグ&プレイには対応しておりません。接続するパソコンによっては、映像表示ができない場合があります。

プラグ&プレイについて

プラグ&プレイは、パソコンと表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。本機は VESA DDC 1/2B に対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) に対応のパソコンに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。

接続するパソコンによっては、プラグ&プレイが動作しない場合があります。

長時間ご使用時のご注意

長時間連続してご覧になると、目が疲れます。時々画面から離れて、目を休めてください。

対応する信号について

本機は、24kHz～109kHzの水平周波数、50Hz～85Hzの垂直周波数に対応して入力を自動判別します。

推奨信号について

本機は、下記に示す推奨信号についての設定があらかじめ登録されています。

No.	信号			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)		
1	VGA	640 × 400	70.10	31.48	25.18
2		640 × 480	59.94	31.47	25.18
3	VESA	640 × 480	72.81	37.86	31.50
4		640 × 480	75.00	37.50	35.50
5		800 × 600	56.25	35.16	36.00
6		800 × 600	60.32	37.88	40.00
7		800 × 600	72.19	48.08	50.00
8		800 × 600	75.00	46.88	49.50
9		1024 × 768	60.00	48.36	65.00
10		1024 × 768	70.07	56.48	75.00
11		1024 × 768	75.03	60.02	78.75
12		1280 × 1024	60.02	63.98	108.00
13	1280 × 1024	75.03	79.98	135.00	
14	W-XGA	1280 × 768	59.87	47.78	79.50
15		1366 × 768	60.02	47.71	85.50
16	750P(720P)	1280 × 720	60.00	45.00	74.25

- W-XGA 信号を入力する場合は、WXGA モードの設定を入力信号に合わせて行ってください。**97**
- 使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ず垂直位置、水平位置、クロック、位相を調節してください。
- 垂直周波数 60Hz 以外の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
- 本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
- リアル表示以外は、画像を圧縮（または間引き）処理をおこないますので忠実に再現されない場合があります。
- 本機は、下表に示す入力信号でご使用になることをおすすめします。フロントポーチやバックポーチが極端に長かったり、データ表示時間が極端に短かったりすると、登録された設定状態が正しく再現されない場合があります。

		フロントポーチ	同期幅	バックポーチ	ブランキング幅
水平タイミング	水平周波数 24kHz-52kHz	0.1 μ s 以上	1.0-3.8 μ s	1.2 μ s 以上	3.5 μ s 以上
	水平周波数 52kHz-107kHz	0.1 μ s 以上	0.8-3.0 μ s	1.1 μ s 以上	2.3 μ s 以上
垂直タイミング		9 μ s 以上	25 μ s 以上	400 μ s 以上	450 μ s 以上

- 信号のばらつきなどにより画面が適正に表示されない場合、自動調節やメニュー画面で調節してください。
- パソコンの解像度、色数などの設定を変更するときは、変更後の信号が上記に適合していることをあらかじめご確認ください。上記以外の信号に設定すると、画面が乱れたり、「信号を確認してください」が表示されたりします。上記以外の信号に設定して正常に表示される場合、メニュー画面での調整が正常に機能しないことがあります。
- ノートパソコンに接続して内蔵ディスプレイと同時に表示させると、パソコンによっては正常に機能しないことがあります。
- 信号が切り換わるときに画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。

メモ

ワイドモードについて

PC 入力時は、ノーマル、リアル、フルモードのいずれかのワイドモードを選択できます。**26**

パソコンの表示位置について

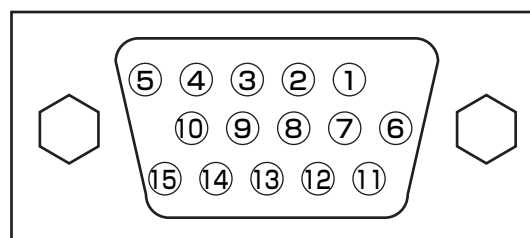
- パソコンの種類によって、信号形式が異なるため、パソコン映像の位置がずれる場合があります。「PC 入力画面の位置調節」を参考にして位置を調節してください。**96 97**
- PC 入力の映像はマルチ画面で表示できません。

外部機器と
接続したいとき
(つづき)

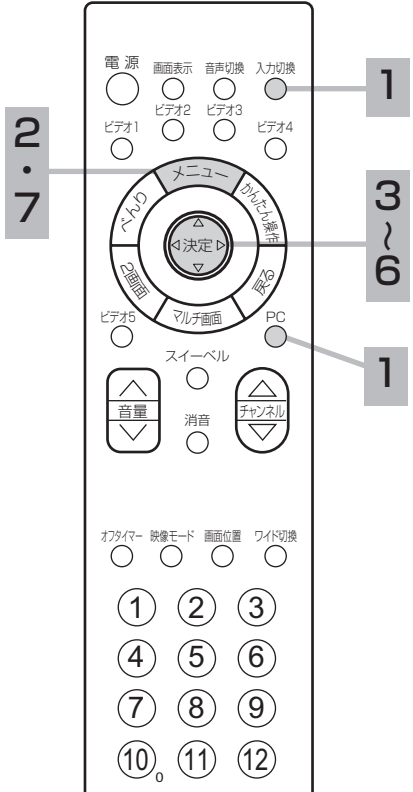
PC (RGB) 入力端子のピン配列

ピン No.	信号
1	R ビデオ
2	G ビデオ
3	B ビデオ
4	(接続無し)
5	グラウンド
6	R グラウンド
7	G グラウンド
8	B グラウンド
9	+ 5V (DDC)
10	グラウンド
11	(接続無し)
12	SDA (DDC)
13	水平同期
14	垂直同期
15	SCL (DDC)

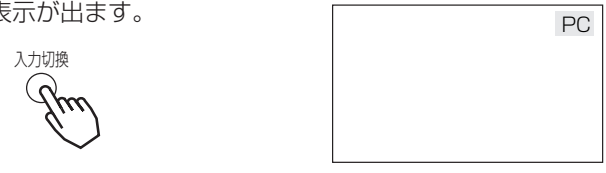
ミニ D-Sub15 ピンコネクター



PC 入力画面の映像設定をしたいとき



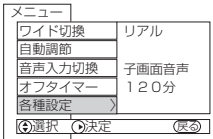
1 入力切換ボタンまたは PC ボタンで「PC」にする
画面に「PC」の表示が出ます。



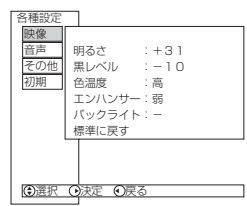
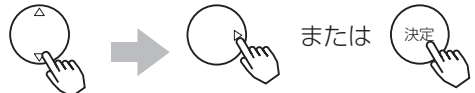
2 メニューボタンを押す



3 で「各種設定」を選び、 または決定ボタンを押す



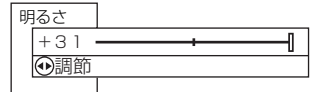
4 で「映像」を選び、 または決定ボタンを押す



5 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 または で設定する

(例) 明るさを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



お知らせ

- 明るさは、調節値が+31のときに ボタンを押し続けると、+32～+40の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは+31までの範囲内でお使いください。
- パソコンの停止した画像を長時間画面に表示するとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度の場合には白パターンを表示させる **61**、または動画を映すことによって目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
- 消費電力「低減(強)」に設定しているときは **54**、明るさ(プラズマテレビモニター)またはバックライト(液晶テレビモニター)の調節はできません。

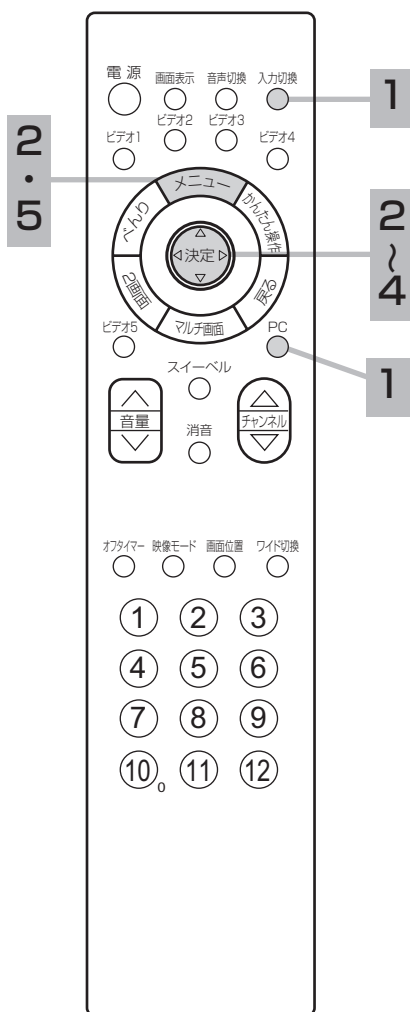
映像設定項目	または	または	設定のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒の信号レベルが黒になるように。
色温度	低 / 中 / 高		通常は「高」でお使いください。
エンハンサー	切 / 弱 / 中 / 強		より細い部分の鮮明さをお好みに合わせて設定します。
(液晶テレビモニター接続時のみ) バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選んで、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

6 設定が終了したら または決定ボタンを押す

7 メニューボタンを押して、メニューを消す

外部機器と 接続したいとき (つづき)

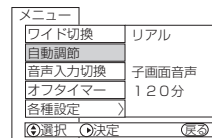
PC 入力画面の位置などを 自動調節したいとき



1 入力切換ボタンまたは PC ボタンで PC 入力を選び、調節したい信号を受信する

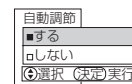


2 メニューボタンを押し、 で「自動調節」を選び、 または決定ボタンを押す



3 で「する」を選び、決定ボタンを押す

- 垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調節されます。
- 自動調節中は「自動調節中」と表示されます。



4 設定が終了したら を押す

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

PC 入力画面表示について

- 自動周波数表示が「する」のときは新しい信号を受け付けたときに周波数を表示します。 **97**
(例) 「H:48.4kHz, V:60.0Hz」

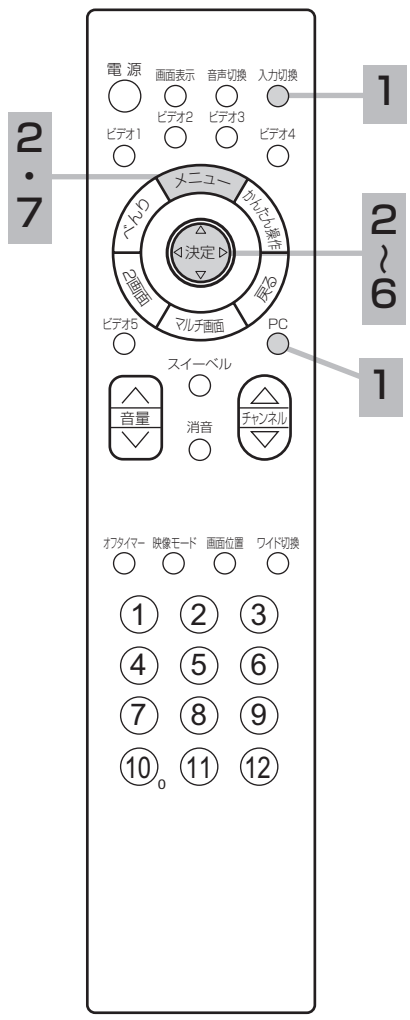
↑ ↑
水平周波数 垂直周波数

- 同期信号が検出できなかったときは「信号を入力して下さい」と表示されます。同期信号が検出できない状態が約 10 秒間継続すると「パワーセーブ」と表示したあと電源の表示ランプが緑から橙色になりパワーセーブモードに移行します。
- 入力信号が本機の仕様に合わないか、不安定な状態のときは「信号を確認してください」と表示されます。

自動調節機能について

- 自動調節機能は PC 入力の信号に対して垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動的に調節する機能です。
- 自動調節を行う場合
自動調節は電源を入れ 20 分以上経過してから明るい、静止画信号を受信して行ってください。暗い信号（特に画面周辺部）や動画信号では正しく動作しないことがあります。
- 入力信号の種類によっては、自動調節を行っても正しく調節されない場合があります。この場合はもう一度自動調節を行うか、マニュアルで調節してください。 **97**

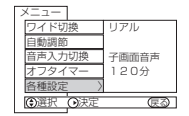
PC 入力画面の位置などをお好みに調節したいとき



1 入力切替ボタンまたは PC ボタンで PC 入力を選び、調節したい信号を受信する



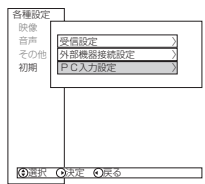
2 メニューボタンを押し、 で「各種設定」を選び、 または決定ボタンを押す



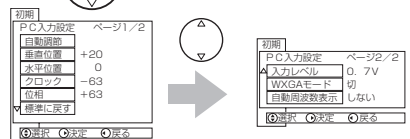
3 で「初期」を選び、 または決定ボタンを押す



4 で「PC 入力設定」を選び、 または決定ボタンを押す



5 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する



(例) 垂直位置を調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



調整項目	または	設定のポイント
垂直位置		映像の中心を画面中央に合わせます。 -31 ~ +31 までの設定ができます。(※)
水平位置		映像の中心を画面中央に合わせます。 -63 ~ +63 までの設定ができます。(※)
クロック	- 31 ~ + 31 までの設定ができます。	縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。
位相	0 ~ 63 までの設定ができます。	横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。
標準に戻す	はい / いいえ	「はい」を選んで、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。
入力レベル	0.7V / 1.0V	通常は「0.7V」でご使用ください。白つぶれが激しいときは「1.0V」にします。
WXGAモード	切 / 1280 × 768 / 1366 × 768	入力信号が WXGA の場合、PC の解像度に合わせて選択します。
自動周波数表示	しない / する	信号を切り換えるときの周波数表示がわずらわしいときは「しない」にします。

※パソコン信号によっては、設定範囲が狭くなる場合があります。設定値が赤紫色で表示されると、設定範囲を超えた場合であり、設定値が変わりますが、実際の画面位置などは変化しません。

6 設定が終了したら または決定ボタンを押す
他の項目を調節するときは、手順 5、6 をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- PC 入力時の垂直位置、水平位置、クロック、位相調節は自動調節することをおすすめします。
- 自動調節で正しく調節できないときは、マニュアルで調節してください。
- WXGA モードを表示する場合は、PC のグラフィックコントローラーとドライバーソフトウェアが対応している必要があります。

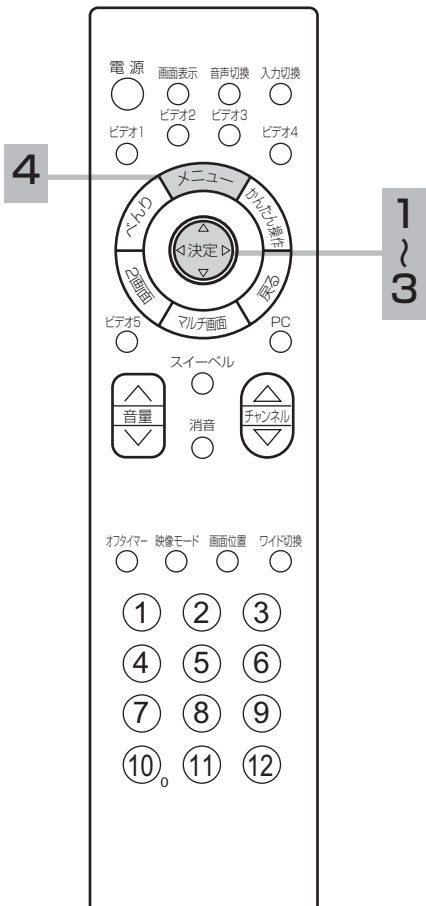
外部機器と接続したいときの設定

モニター出力、ゲームモード

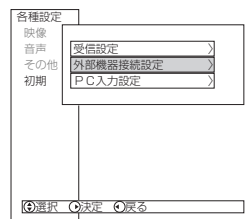
ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

- モニター出力 (ビデオ) …………… ビデオ入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。ビデオ 1～4 入力端子ごとに設定することができます。事前に設定したいビデオ入力を選択してから設定してください。
- ゲームモード (ビデオ 3) …………… AVC ステーション前面のビデオ 3 入力端子に接続したテレビゲームの映像を選んだときの映像モードを自動的に選択します。

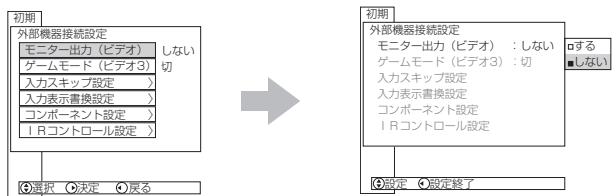
18 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



1 上下方向キーで「外部機器接続設定」を選び、右方向キーまたは決定ボタンを押す



2 上下方向キーで設定したい項目を選ぶ



設定項目	設定方法	設定のポイント
モニター出力 (ビデオ)	する / しない	ビデオ入力の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。
ゲームモード (ビデオ 3)	切 / 入	ビデオ 3 に切り換えると、映像モードを「ナチュラル」にします。(「入」設定時) 89

お知らせ
1 台のビデオに本機の「モニター出力」と「モニター出力(ビデオ):する」設定した「ビデオ入力」を同時に接続すると、発振によるノイズが生じることがあります。このような接続の場合は、「しない」に設定してください。

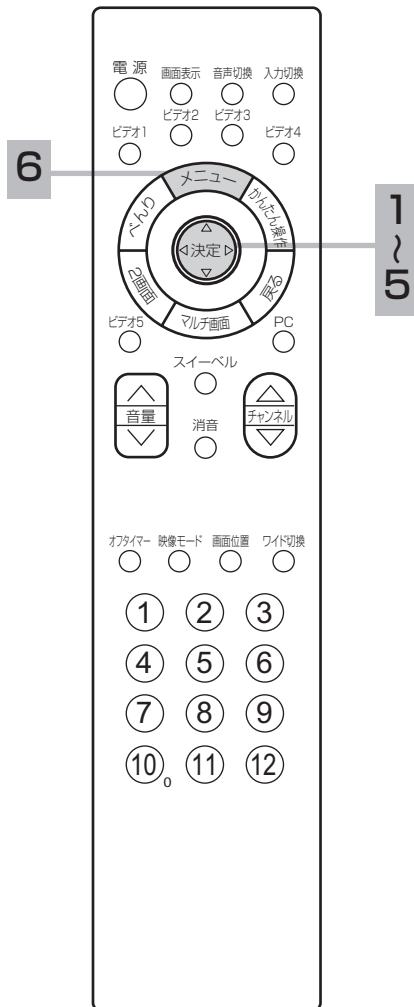
3 設定が終了したら左方向キーまたは決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

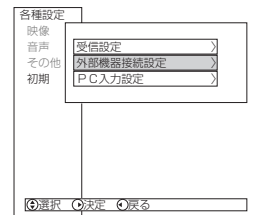
接続のない入力端子をスキップする

入力切換ボタンを押したときに、空いている入力端子を飛び越して、はやく画面を切り換えることができます。

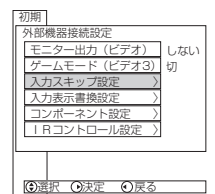
18 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



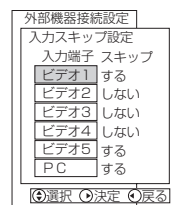
1 上下の矢印で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



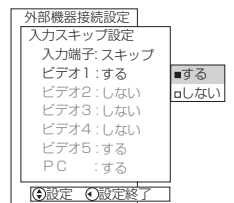
2 上下の矢印で「入力スキップ設定」を選び、決定ボタンを押す



3 上下の矢印で入力スキップしたいビデオ入力端子を選び、決定ボタンを押す



4 上下の矢印で「する」を選ぶ



5 設定が終了したら決定ボタンを押す

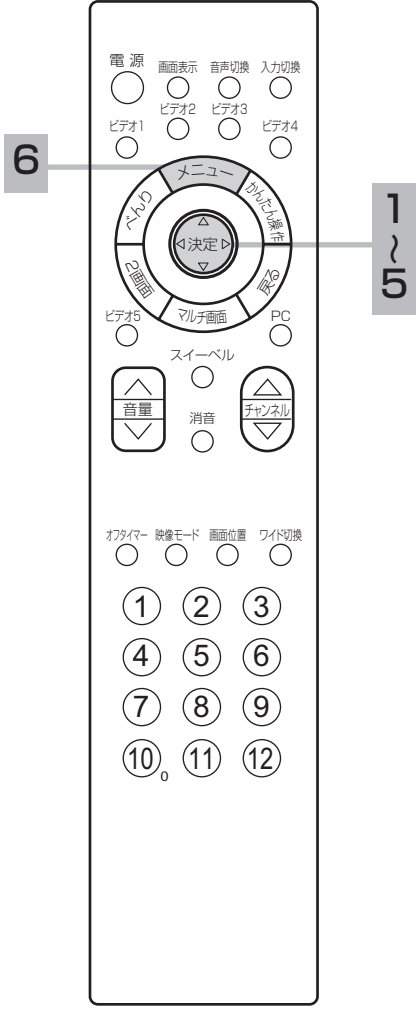
6 メニューボタンを押して、メニューを消す

外部機器と接続したいときの設定 (つづき)

入力表示を書き換える

入力切替や画面表示ボタンを押したときなどに、ビデオ入力端子に接続した外部機器名を表示させることができます。

18 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



1 上下の矢印で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

2 上下の矢印で「入力表示書換設定」を選び、決定ボタンを押す

3 上下の矢印で入力表示を書き換えたいビデオを選び、決定ボタンを押す

4 上下の矢印でお好みの種類を選ぶ

5 設定が終了したら左右の矢印で決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押して、メニューを消す

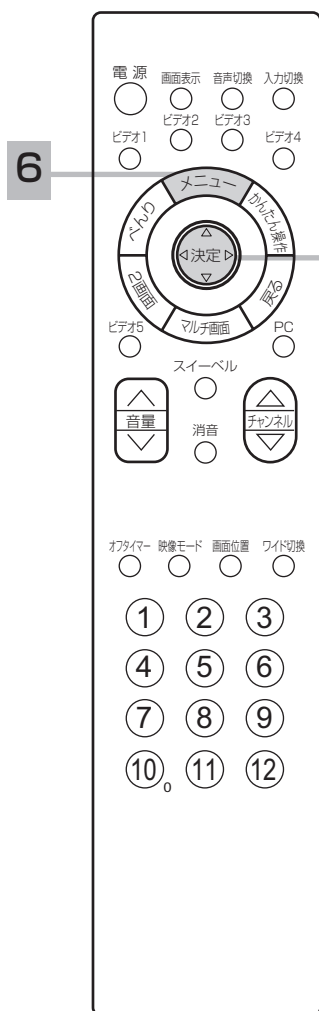
お知らせ

- IR コントロール設定画面で外部機器を設定すると、入力表示書換設定の表示も自動的に書き換えられます。(入力表示書換設定を変更しても、IR コントロール設定の外部機器は変更されません。)
- 外部機器名「HDD」「BS デジタル」「デジタル」および「ゲーム」は、IR コントロール設定の外部機器設定 102 では設定できません。

コンポーネントの設定

コンポーネント 1 (ビデオ 4)、コンポーネント 2 (ビデオ 5) に接続する機器を設定します。

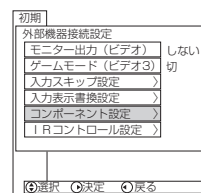
18 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



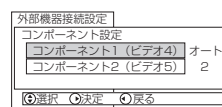
1 上下の矢印で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す



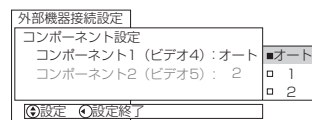
2 上下の矢印で「コンポーネント設定」を選び、決定ボタンを押す



3 上下の矢印で設定したいコンポーネントを選び、決定ボタンを押す



4 上下の矢印でお好みの種類を選ぶ



設定項目	設定	設定のポイント
コンポーネント1 (ビデオ4)	オート / 1 / 2	コンポーネント1 入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント2 (ビデオ5)	オート / 1 / 2	コンポーネント2 入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

設置

メモ

コンポーネント設定について
コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色合いが異なる場合があります。通常は「オート」でお使いください。色合いが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。

5 設定が終了したら左右の矢印で決定ボタンを押す

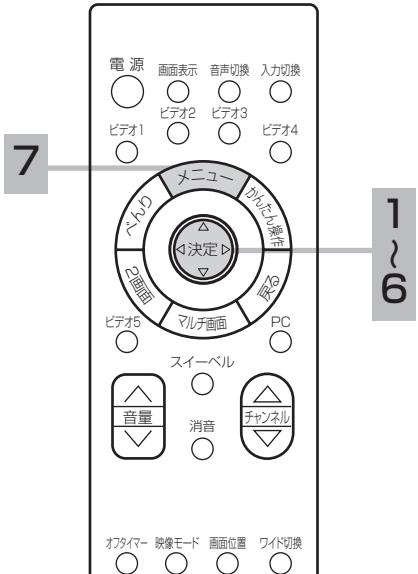
6 メニューボタンを押して、メニューを消す

外部機器と接続したいときの設定 (つづき)

IR コントローラーを設定する

付属の IR コントローラーを使用すると、かんたん操作画面 **52** で外部機器を操作することができます。
67 に記載の IR コントローラーを正しく接続、設置し、下記の設定とテストを行ってください。

18 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。
 例) ビデオ 4 に DVD+HDD レコーダー (日立) を設定したいとき



対応メーカー一覧(2004年8月現在)

外部機器	対応メーカー
VTR1/2	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、シャープ、サンヨー、NEC、富士通ゼネラル、フナイ
VTR1/2+DVD プレーヤー (VTR1/2+DVD)	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、サンヨー、フナイ
CATV ホームターミナル (アナログチューナーのみ)	日立、松下、東芝、NEC、パイオニア、富士通、SA (サンエンティフィック・アトランタ)、DX アンテナ
CS デジタルチューナー	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝
DVD プレーヤー	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝、パイオニア
DVD レコーダー (DVDR)	日立、松下、東芝、パイオニア
DVD+HDD レコーダー (DVDR+HDD)	日立、松下、東芝、パイオニア、ソニー、ビクター、シャープ
VTR (一体型) DVD レコーダー (DVDR + VTR)	日立
AV アンプ	デノン、ヤマハ、パイオニア

外部機器を設定する

1 で「外部機器接続設定」を選び、 または を押す

2 で「IR コントロール設定」を選び、 または を押す

3 で「入力端子」の項目を選び、 で設定したいビデオ入力を選ぶ

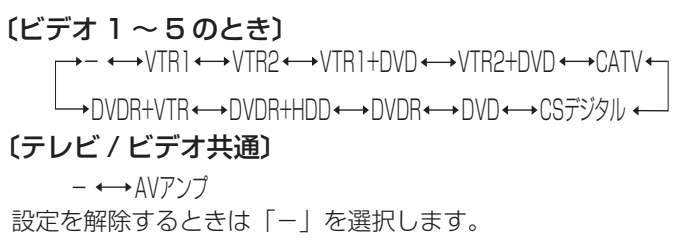
入力端子「テレビ/ビデオ」は、テレビとビデオ入力で共通になっていることを意味します。

4 で「外部機器」の項目を選び、 で接続する外部機器を設定する

を押すたびに次のように切り換わります。

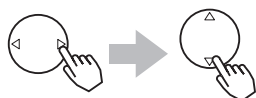
お知らせ

- ビデオ内蔵テレビの場合、本機からのリモコン信号で操作できない場合があります。
- 表に記載しているメーカーの外部機器であっても、機器によっては対応できない場合があります。



メーカーを設定する

- 5 ◀▶ で「メーカー」の項目を選び、△で外部機器のメーカーを設定する



メディア操作設定			
入力端子	外部機器	メーカー	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	送信
ビデオ3	—	—	—
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	送信
ビデオ5	—	—	—
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン	送信

△を押すたびにメーカー名が切り換わります。

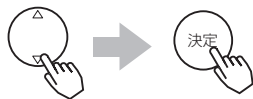
メーカーには「日立1」～「日立7」などのように複数の番号が付いているものがあります。番号の数は機器やメーカーによって異なります。手順6のテストを「日立1」から順に行い、正しく動作するものを選んでください。

- 外部機器の対応メーカーは、102の一覧表を参考にしてください。表に記載しているメーカーでも対応できない機種があります。
- 「外部機器」の項目を設定していない場合は、「メーカー」を設定することはできません。先に「外部機器」を設定してください。また、「外部機器」の項目を変更したときは、「メーカー」の設定もクリアされます。

テスト

- 6 ◀▶ で「テスト」項目の送信を選び、決定ボタンを押す

送信前に外部機器の電源を切っておきます。



メディア操作設定			
入力端子	外部機器	メーカー	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	送信
ビデオ3	—	—	—
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	送信
ビデオ5	—	—	—
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン	送信

IRコントローラーから信号が1回送信され、「外部機器の電源が入ることを確認して下さい」のメッセージが表示されます。

- 7 正しく設定されたらメニューボタンを押して、メニューを消す



お守りください

- VTR1/2+DVDやHDD+DVDなどの複合機器をお使いの場合、電源を入れたとき、かんたん操作を表示したときなど、実際の機器のモードと異なる場合があります。はじめに、かんたん操作画面上の入力モードボタンを押し、機器とのモードを合わせたいうえでお使いください。
- 手順5、6で送信やテストを行うときは、リモコンの決定ボタンを長押ししないでください。リモコンの決定ボタンを長押しすると、リモコンとIRコントローラーのリモコン信号が干渉して正しく動作しないことがあります。また、テスト中は他の機器のリモコン操作も行わないでください。

お知らせ

- 手順5、6で電源が入らないときは、IRコントローラーの取り付け場所を変えて行ってください。何度かくり返しても電源が入らない場合は、対応できない機器と思われますので、「メーカー」の設定を「—」にして終了してください。
- かんたん操作画面で操作中、接続した外部機器の映像の状態により操作画面が消えることがあります。
- 手順4で外部機器を設定すると、入力表示書換設定100も同じ機器名が自動的に設定されます。